

熊谷 友幸 氏 講演会

演題 「いざなう絹、私たちは何処へ」

主催 薫ヶ丘クロスペンアカデミー
伊那北高等学校同窓会
伊那北高等学校PTA
共催 伊那北高等学校
日時 令和5年6月24日(土)
午前9時半～12時(開場9時)
場所 長野県伊那文化会館大ホール



講演内容

私たちが住む信州伊那谷は、明治、大正、昭和を通じて日本一の繭(まゆ)の出荷量を誇る養蚕の谷間でした。明治30年位から、日本が中国を抜いて世界一の生糸輸出国になった事を考えれば、伊那谷は世界一の“シルクのふるさと”と言っても過言ではありません。映画の主な舞台は、天竜川上流の岡谷市ですが、この映画が郷土の歴史や記憶を見つめ直すきっかけの一つになればと願っています。

ご覧いただく映画は、シルク(絹)をテーマとしたオムニバスのような構成になっています。絹とゆかりの深い日本各地、そして日本の生糸や蚕種の多くが輸出されたアメリカ、フランス各地をロケしています。各地の記憶を繋いでいくと、改めてシルクが私たちにとってかけがえのない繊維であることがわかります。辺境から大都市まで、シルクは多種多様な人々に希望を与え、世界の経済と文化をリードしてきた唯一無二の天然繊維なのです。人類が経験したことのない“情報化時代”を迎えた今、私たちは何処へ向かおうとしているのでしょうか。シルクの記憶を通して静かに考えたいと思います。

熊谷 友幸 氏 略歴

高26回卒 在校時はラグビー部所属 1955年(昭和30年)伊那市生まれ 68歳
カメラマン・映画監督 映像プロダクション・フィールドワーク代表取締役
一般社団法人高遠石工研究センター事務局長

高校卒業後上京、16ミリ映画製作を経て、ドラマプロデューサー石井ふく子主宰の創映企画入社。TBS東京放送演出一部に所属し東芝日曜劇場などに7年間従事。「青い眼をしたお人形は」など特別ドラマに多数参加する。家庭の事情で帰郷後、伊那ケーブルテレビの自主放送立ち上げに参加。その後フリーランスとなり、山岳映像(山と溪谷社)や報道(JNN系列)などに携わる。「ヨーロッパアルプス」などの山岳映像を数多く手がける。信州伊那谷を記録することをライワークとして捉え、自然やひと、歴史や祭りなど30年余り記録しつづけている。

主な作品 ドキュメンタリー映画「シルク時空をこえて」 NHKBS にっぽん百名山(撮影)
テレビ信州「シルク岡谷シリーズ」 映像集 「涸沢讃歌」 「槍ヶ岳物語」

保護者、同窓生、一般の皆様のご参加を歓迎いたします